

重点戦略プラン

重点戦略プラン1 白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり

重点戦略プラン2 活力にあふれ躍動する白河の礎づくり

重点戦略プラン3 白河の歴史と文化を活かしたまちづくり

重点戦略プラン4 白河の未来を担う人と輝く地域づくり

【ねらい】

東日本大震災の発生以降、その教訓を踏まえた復興のまちづくりプランである「白河市震災復興計画」を策定し、復興に向けた取組みが進む一方、震災と原発事故がもたらした傷跡は今なお残っており、引き続き、放射性物質による環境汚染からの回復や市民の健康不安の解消といった復興を目指す上で克服すべき課題の解決に取り組んでいく必要があります。

そのため、放射性物質の継続的なモニタリングと除染、汚染廃棄物の適切な処理の推進による環境の回復、市民の健康維持や安全確保に努めるとともに、防災・減災対策による災害に強いまちづくり等の取組みを進めることにより、すべての市民の安全で安心な暮らしを支える環境を実現します。

【戦略プロジェクト】

(1) 環境回復プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
1-5	仮置き場設置事業	除染作業に伴う除去土壌等について、中間蔵施設に搬出するまで安全に管理する。	放射線対策課
1-5	民間宅地除染対策事業	除染計画に基づき、個人住宅及び事業所の除染を行う。 ○個人住宅除染 ・白河：寺小路、旭町、中田、結城地区などの除染 ・白河：大沼、関辺、五箇地区、表郷、東地域の除染 ○事業所除染 ・事前調査、除染	放射線対策課
1-5	農用地等除染対策事業	除染実施計画に基づき、農用地の除染（深耕とゼオライトの施用）を行う。	農政課
1-5	農業用施設除染対策事業	除染実施計画に基づき、農業用排水施設の除染を行う。	農林整備課
1-5	森林等除染対策事業	除染実施計画に基づき、森林の除染を行う。 ・白河地域及び学校施設周辺など	農林整備課
1-5	ため池放射性物質対策事業	福島県が平成27年度に簡易調査した市内238箇所の「ため池」のうち18箇所について詳細な調査を実施する。	農林整備課
1-5	市道等除染対策事業	除染実施計画に基づき、市道の除染（個人住宅除染区域）を行う。 ・白河地域の市道	道路河川課
1-5	学校施設等除染対策事業	公立小中学校、幼稚園、保育所の放射線量モニタリング調査及びホットスポット除染を行う。	教育総務課

(2) 市民の心身の健康を守るプロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
1-5	放射線対策事業	放射線量のモニタリングを行う。「放射線マップ」を作成し、全戸配布するなど放射線対策の関連事業を実施する。	放射線対策課

2-1	内部被ばく検査事業	西白河地方5市町村で白河厚生総合病院に設置したホールボディカウンターにより検査を実施し、長期的な検査体制を整え、市民の健康不安の軽減と健康管理を行う。	健康増進課
2-1	災害関連健康管理事業	中学生以下の希望者にガラスバッジ外部被ばく積算線量計を配布し、一人ひとりの生活実態に即した線量を把握することで、健康不安の軽減と健康管理に反映させる。	健康増進課
2-2	救急医療体制強化支援事業	救急搬送を受け入れている二次救急医療機関に、本市及び西白河郡内町村で医師の確保を支援し、救急搬送の応受率向上を図り、救急医療体制を強化する。	健康増進課
2-2	みんなが安心できる地域医療づくり事業	医師の働きやすい環境づくりをめざし、引き続き市民の適正な医療機関の受信方法について啓発を行うほか、安心して医療が受けられる地域体制の整備を図るための協議会を開催する。また、医大生の地域医療研修を実施する。	健康増進課
4-1	食品放射能測定システム検査事業	市内の自校給食校並びに白河・大信給食センターに放射能測定システムを整備、検査員を配置し、食材等を検査することにより、学校給食の安全・安心を確保する。	学校教育課

(3) 災害・減災対策プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
1-1	震災対策農業水利施設整備事業	地震による被災の影響が大きい農業水利施設の耐震性を点検調査するとともに、地震により施設の損壊のおそれがあるなど必要な耐震性を有していない農業水利施設の整備を実施することにより災害の未然防止を図る。	農林整備課
3-3	強い農業基盤づくり事業	ため池の堤体補強や土砂浚渫、堰や水路等の老朽コンクリート構造物を改修し、災害を未然に防止するとともに農業者の安定した農業経営の確立を図る。	農林整備課
5-2	道路新設改良事業 (交付金＋単独費)	安全で円滑な交通の確保と地域内・地域間交通の利便性向上を図るため、主要幹線道路、生活道路の整備を行う。白坂駅十文字線外。老朽化した道路ストック(橋梁、トンネル、道路付属物等)の点検及び修繕を行う。	道路河川課
5-2	道路維持改修事業(4地域)	市道の機能保全、安全・円滑な交通確保のため、市道の維持・修繕などを行う。	道路河川課

5-3	木造住宅耐震改修助成事業	耐震診断により、耐震基準を満たさないと判断された木造住宅の耐震改修費用の一部を助成することで、震災に強いまちづくりを推進する。	建築住宅課
-----	--------------	---	-------

【ねらい】

1990年代からはじまった長引く景気低迷を背景に、国内外を問わず経済・雇用環境は厳しい状況にあります。本市においても、低水準の就業率や高い水準の完全失業率、市内総生産額の低下から見られるように、例外なく低迷しています。また、原発事故による風評被害等が地域産業へ与えた影響は大きく、その対応が喫緊の課題となっています。このため、地域社会が直面する不況や閉塞感を打開し、地域経済を活性化させることが必要です。

そのため、市が有する高速交通体系などの優位性を最大限に活用した企業誘致・産業集積の促進をはじめ、地域産業の活力創出を担う中小企業への支援、産業を支える人材の育成に取り組むとともに、風評の払しょくによるイメージの回復及び農産物等の放射性物質汚染からの安全確保に努めることにより、地域経済の生産性が向上し、活気を取り戻すことができる産業基盤の構築を実現します。

【戦略プロジェクト】

(1) 地域産業振興プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
3-1	認定創業支援事業計画関連事業	地域経済の循環による地域活性化のため、起業にチャレンジしたい女性・若者等の創業希望者及び創業者、事業継承を機会に新分野に挑戦する等の第二創業者に対して支援を行い、創業による新たなビジネスや雇用の創造を図る。	商工課
3-1	ビジネスチャンス支援事業	創業希望者や中小企業者等が行う新たな需要を創造する新商品・新サービスの開発やマーケティング等の市場調査、商品・製品等の販路拡大のための展示会等出展など必要な経費の一部を補助することにより、地域産業の振興を図る。	商工課
3-1	ふるさとビジネス創業支援事業	起業にチャレンジしたい女性・若者等の創業希望者及び新分野へ挑戦したい第二創業者などに対し、必要な経費の一部を補助することにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。	商工課
3-1	創業支援資金融資制度事業	創業者を対象とした運転資金及び設備資金の融資あっせんを行うため、その資金を指定金融機関に預託するとともに、信用保証料を補助する。	商工課
3-1	中心市街地空き店舗対策事業	中心市街地内において、商店街の集客力や魅力の向上による賑わいの創出を図るため、商店街の空き店舗を新規店舗等として活用する場合に賃借料や改修費用の一部を補助する。	まちづくり推進課
3-2	産業支援センター運営事業	地域産業の振興等を図るため、産業サポート白河に業務を委託し、地域企業の経営相談、企業間連携の推進、産学官・農商工連携、起業家支援などの事業を実施する。	商工課

3-2	人材育成センター運営事業	地域の産業人材の育成を図るため、産業サポート白河に業務を委託し、従来のエクセル、ワード及びパワーポイント等のパソコン講座の開設のほか、講堂や研修室等の貸し出し業務を行う。	商工課
3-2	企業立地奨励金事業	本市に工場又は事業所を新設又は増設する事業者に対し、奨励金を交付することにより、産業の振興と雇用機会の拡大を図る。	企業立地課
3-3	がんばる新規就農者支援事業	経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、就農計画書、青年等就農計画書等において経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の購入経費を支援し、もって新規就農者の増と定着を図る。	農政課
3-3	がんばる後継者支援事業	農業後継者の確保・育成を図るため、一定の要件を満たす45歳未満の新規就農者等に対し奨励金を交付するとともに、しらかわ農業未来塾の運営を支援する。	農政課
3-3	しらかわ型農地利用集積推進事業	農地中間管理機構を通して、農地集積・規模拡大を行った農業者等(受け手)に対し規模拡大の意欲向上・営農継続の支援を図るため、集積面積に応じて協力を交付する。	農政課

(2) 風評払しょくプロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
3-3	食の安全・安心推進事業	出荷用農作物等に含まれる放射性物質の量を測定し、その結果を生産者を通じて各直売所等に提供することにより、当該農作物等の安全・安心を担保し、販売促進を図るとともに、検査結果を市のホームページで公表し、安全性を広くPRすることにより、風評被害の払拭につなげる。	農政課
3-3	農産物6次化・ブランド化推進事業	本市の農畜産物及びそれを活用した商品等のブランド化を推進するとともに、各種物販会への参加、広報活動を通じて、広く内外に情報発信を行う。これにより風評払拭にもつなげていく。また、売れるポップづくり研修会や、金融機関、商業関係者等を招致した白河ブランド商品等の試食品評会を実施する。	農政課
3-4	ふくしま destinations キャンペーン推進事業	平成27年度に福島県で開催される大型観光キャンペーン事業に併せて、様々な観光誘客事業を展開する。	観光課

3-4	こども夢フェスタ支援事業	全国的な人気と広がりを見せている「ご当地キャラ(ゆるキャラ)」のイベントを開催し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。	観光課
-----	--------------	---	-----

(3) 低炭素社会推進プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
3-6	再生可能エネルギー推進管理事業	地域の再生可能エネルギー普及と次世代を担う子どもたちへの啓発を促進するため、再エネ発電設備設置の適地調査事業や普及・啓発活動に関する事業などの経費の一部を補助する。	商工課
3-6	再生可能エネルギー推進導入補助事業	再生可能エネルギー利用を促進するため、住宅に太陽光発電システムや太陽熱利用システムを設置した方に費用の一部を補助する。	商工課
6-1	資源回収奨励金助成事業	ごみの減量化・資源化・再利用を推進するため、市民の自発的な資源回収活動に対して、回収量に応じた奨励金を支給する。	生活環境課

【ねらい】

本市には、古くから受け継がれてきた地域固有の歴史的・文化的資源や優れた自然・景観等が豊富にあります。こうした魅力あふれる地域資源を守り育み・活かし伝えていくため、自然や風土に配慮しながらその魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めることが必要です。

そのため、歴史文化資源を活かした街並みの形成や史跡・文化財などの多様な地域資源を活用した観光・交流の促進、市内の優れた文化芸術活動の創造・発信による地域文化の形成を図ることにより、白河の歴史・文化を活かした魅力あるまちづくりを実現します。

【戦略プロジェクト】

(1) 歴史まちづくりプロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
4-5	白河歴史教科書作成事業	本市に数多く残る資源を見つめなおし、地域の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛を醸成することを目的として作成した白河歴史の手引き「れきしら」を活用し、仮称「しらかわ検定」等を実施する。	まちづくり推進課
4-5	小峰城跡史跡整備事業	平成25年度保存管理計画及び平成26年度整備基本計画を策定しており、この計画に基づき、文化財の保護及び将来に向けた史跡の一体整備のため、民有地の公有化を図る。	文化財課
4-5	文化財補助災害復興旧事業	小峰城跡について、平成27年度に引き続き、本丸西面、雪見櫓、本丸北面の石垣積み替え工事を実施する。	文化財課
4-5	南湖公園史跡整備事業	緊急性を要する護岸整備、民有地の公有化及び今後の整備指針とするため、整備基本計画を策定する。	文化財課
4-5	天王山遺跡発掘調査事業	平成28年度から平成32年度までの5か年事業として、遺跡の範囲・内容等を明らかにする確認調査を実施する。	文化財課
5-1	丹羽長重廟周辺整備事業	丹羽長重廟周辺の小南湖について、廟の修復整備とともに、遊歩道の整備、湖沼の浚渫、景観上支障となる森林伐採整備等を実施し、史跡公園としてまちなか回遊の拠点づくりを行う。	まちづくり推進課
5-1	旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	明治天皇や新撰組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備を行い、まちなか回遊の拠点とする。	まちづくり推進課

(2) 文化創造・発信プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
4-2	キッズシアター(演劇教室)開催事業	質の高い本物の舞台芸術を鑑賞することにより、子どもたちの豊かな感性や想像力を育み、情緒豊かな児童の育成を図る。	文化振興課
4-3	生涯学習フォーラム運営事業	市民の意識高揚と生涯学習の必要性を啓発するため「生涯学習講演会」を実施する。	文化振興課
4-4	文化交流館管理運営事業	白河文化交流館の備品等の選定及び発注、貸館受付書類等の作成、必要な配布物(パンフレット、利用案内等)の作成、市民参画組織の立上げ、施設管理及びチケット発券システムの導入、舞台芸術公演の出演交渉等、開館に向けて必要となる準備業務とともに、当該施設を核とした芸術文化の振興を図る。	文化振興課
4-4	市民文化会館建設事業	現在の市民会館は老朽化が著しく、耐震補強も必要なうえ、大震災により被害を受けたことから、新たな市民文化会館(白河文化交流館)の建設を行う。工期延長に伴い、平成27年度予算額(年割額)の一部を28年度年割額とするもの。	まちづくり推進課
4-5	集古苑特別企画展開催事業	松平定信と交友が深かった長崎県平戸藩主松浦静山は、定信同様当代屈指の文化人として知られている。その縁で定信の娘が平戸藩に嫁いでおり、輿入れ時の婚礼調品やひな人形、更には松浦家資料などを白河で初めて展示し、二つの大名家の交流を紹介する。	文化財課

(3) 観光・交流プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
3-4	イメージUP観光誘客事業	風評被害等払拭のため、福島市から東京都新宿までの高速バスを利用して、ふくしまデスティネーションキャンペーンに合わせて、観光客の誘客を図る。	観光課
3-4	白河まつり振興会支援事業	観光振興と交流人口増加を目的とした白河関まつりや白河だるま市を主催する白河まつり振興会の運営に対する負担金を支出する。	観光課
3-4	ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業	平成27年度に福島県で開催される大型観光キャンペーン事業に併せて、様々な観光誘客事業を展開する。	観光課

3-4	こども夢フェスタ支援事業	ふくしまデスティネーションキャンペーンのメインイベントとして、全国的な人気と広がりを見せている「ご当地キャラ(ゆるキャラ)」のイベントを開催し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。	観光課
3-4	周遊型観光推進事業	新たな観光周遊ルートを提供するとともに、首都圏でのプロモーションや観光DVDの作成による情報発信、観光アプリを活用するためのタブレット配備など、積極的な誘客活動を展開する。	観光課
3-4	南湖公園魅力再発見事業	南湖公園の特長を活かした演出を行い、魅力を再発見するとともに、おもてなしによるお迎えを行い観光客の誘客を図る。	観光課

【ねらい】

人口減少・高齢化の進行により、あらゆる分野の存立基盤が弱体化する傾向にあります。こうした中、持続可能な社会の構築を目指し、誰もが住みよい地域をこれからも維持していくためには、その担い手となり、次世代へと受け継ぐことができる人材の育成とそのような人々が活躍できる環境づくりが重要です。

そのため、白河の未来を担い、地域を支えていく子どもたちを生み、育てやすい環境づくり、社会の変化に適応し生き抜く力を育む人づくり、地域の課題を地域住民が主体的に解決していく力となる地域コミュニティの力の再生を図ることにより、白河の未来を担う人と輝く地域を実現します。

【戦略プロジェクト】

(1) 子どもを生み、育てやすい環境づくりプロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
2-3	妊産婦健康診査事業	妊婦一般健康診査費用15回分の助成を継続して実施する。また、産後1ヶ月の健診を実施することにより、出産後の身体的・精神的な不安を解消し、母子ともに安心できる環境を整える。	こども支援課
2-3	特定不妊治療費用助成事業	子どもを希望しながらも恵まれない夫婦へ治療費の一部を助成する。	こども支援課
2-3	男性不妊治療費助成事業	特定不妊治療を行う夫婦で、男性不妊とされた場合の手術を伴う治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。	こども支援課
2-3	ファミリーサポートセンター委託事務	育児の援助を受けたい人、提供したい人が会員となり、地域の中で会員同士がお互いに助け合う活動を支援する。	こども支援課
2-3	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	保護者の就労等の理由により放課後留守家庭になる児童に遊びと生活の場を提供して健全育成を図る。平成27年度から、対象児童を小学3年生から小学6年生まで拡大する。	こども育成課
2-3	子育てサロン推進事業	子育てを楽しめる環境づくりを促進するため、乳幼児及びその保護者が気軽に集い交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に対し、その費用の一部を助成する。	こども支援課
2-3	子育て支援ガイドブック作成事業	妊娠・出産・育児・子育て支援に関する情報を一元化し、行政サービスや各種手当、相談窓口などをわかりやすく情報提供するとともに、広く市民に周知することで、出産や育児など、子育てに対する不安の軽減を図る。	こども支援課

2-3	すこやか相談・フォローアップ訪問事業	白河市の子ども達「白河っ子」を関係機関連携の下、生まれてから義務教育が終わる中学校卒業まで、切れ目なく見守り支援していく。保育園・幼稚園の4歳児を対象に「すこやか相談会」を実施し、保護者の子育てに関する悩みや心配事に応じるとともに、相談会後のフォローアップに努め継続的な支援を行う。併せて、保育園・幼稚園の保育力向上も図る。	こども支援課
2-3	子育て支援アプリ活用事業	市の子育て支援の取組みや子育てサロン、遊び場等の情報を若い子育て世代に迅速に分かりやすく発信するため、スマートフォン向けの子育て支援・応援アプリを平成27年度に開発し公開した。より便利で使いやすい機能とするため、管理運用において、引き続き子育て支援情報の提供を図る。	こども支援課
2-3	児童クラブ施設建設事業	入会児童の安全安心と利便性の向上を図るため、学校から離れた施設で運営している児童クラブの当該学校敷地内への移転改築、施設環境の劣悪な児童クラブ施設の改築、学校統合に合わせた新たな児童クラブ施設の建設を行う。	こども育成課
2-3	多子世帯保育料軽減事業	子どもを産みやすい環境づくりを推進するため、18歳未満の子どもが2人以上いる世帯の幼稚園及び保育園の保育料について、第二子を半額、第三子については無料化する。これまで、幼稚園は上の子が小学3年生、保育園では就学前という条件を18歳までに拡充するものである。	こども育成課

(2) 生き抜く力を育む人づくりプロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
4-1	学校基礎学力向上推進事業	学力向上を図るため、小中学校に非常勤講師を配置し、個に応じた指導を展開したり、授業の質的改善や家庭学習の充実を図ったりする研究実践ができるように支援する。	学校教育課
4-1	白河の歴史再発見！事業	小峰城等の史跡見学や松平定信公の業績を学ぶことにより、白河の歴史や文化について知識を深め、郷土に対する愛着や誇りを醸成する。	学校教育課
4-1	白河市、桑名市、行田市中学生交流事業	白河、桑名、行田の3つの市の中学生が、持ち回りでそれぞれの市に集い、お互いの市の様子を聞いたり、意見を出し合ったりすることで、交流を深める。	学校教育課

4-3	白河サテライト教室等事業	福島大学との連携より、幅広い市民の参加と質の高い学びの場や機会の提供を目的として、福島大学白河サテライト教室を開催する。また、更なる学習機会の充実を図り、市民の学習意欲を喚起するため、大学の出前講座を開催する。	文化振興課
4-5	白河歴史教科書作成事業	本市に数多く残る資源を見つめなおし、地域の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛を醸成することを目的として作成した白河歴史の手引き「れきしら」を活用し、仮称「しらかわ検定」等を実施する。	まちづくり推進課

(3) 地域コミュニティの力再生プロジェクト

基本施策No.	事業名	事業概要	担当課
2-4	高齢者サロンあったかセンター事業(介護保険特別会計)	高齢者が歩いて行ける範囲を目安に、高齢者が気軽に集まり地域の住民と触れ合うことができる高齢者サロン「あったかセンター」の設置を推進しその運営費を助成するとともに、運営に携わる高齢者サポーターを養成する。 ※平成28年度より参加人数に応じた補助金加算を新設。	高齢福祉課
3-3	農地維持・資源向上支払交付金事業	農業資源の適切な管理のため、地域が共同活動で行う農地、水路等の施設の管理や長寿命化のための補修活動を支援する。	農林整備課
7-1	地域おこし協力隊活用事業	「地方の活性化」に積極的な人材を都市地域より招聘し、地場産品の開発や観光振興などについてアイデアを出してもらい、新たな魅力の醸成と地域の活性化に寄与する。	企画政策課
7-1	地域づくり活性化支援事業	地域の活力を育むため、地域特性を活かした自発的で独自性のある市民活動に対し補助金を交付する。また、今年度から広域的に活動する団体への支援を一層充実させ、事業の拡大を図る。	生活環境課
7-1	集会所整備事業	地域コミュニティの活動拠点施設となる集会所の整備を行う。	生活環境課
7-1	町内会連合会運営事業	町内会連合会の運営費を補助するとともに、伝統芸能や住民同士の交流等の促進を図るため「地域の底力再生事業」補助金を交付し、町内会活動を支援する。	生活環境課
7-1	農業用施設整備“結”支援事業	町内会が行うU字溝敷設や農業用施設の修繕等に対し、原材料支給及びバックホウ等の機械を貸与し、農業用施設の保全活動を促進させる。	農林整備課

7-1	まちづくり・ひとづくり 事業	街なかの空き店舗を活用し、若者が集い、勉強会やボランティア活動などができる拠点「コミュニティスペース」を整備すると共に、積極的なコミュニケーションの機会を創造する。	企画政策課
-----	-------------------	--	-------